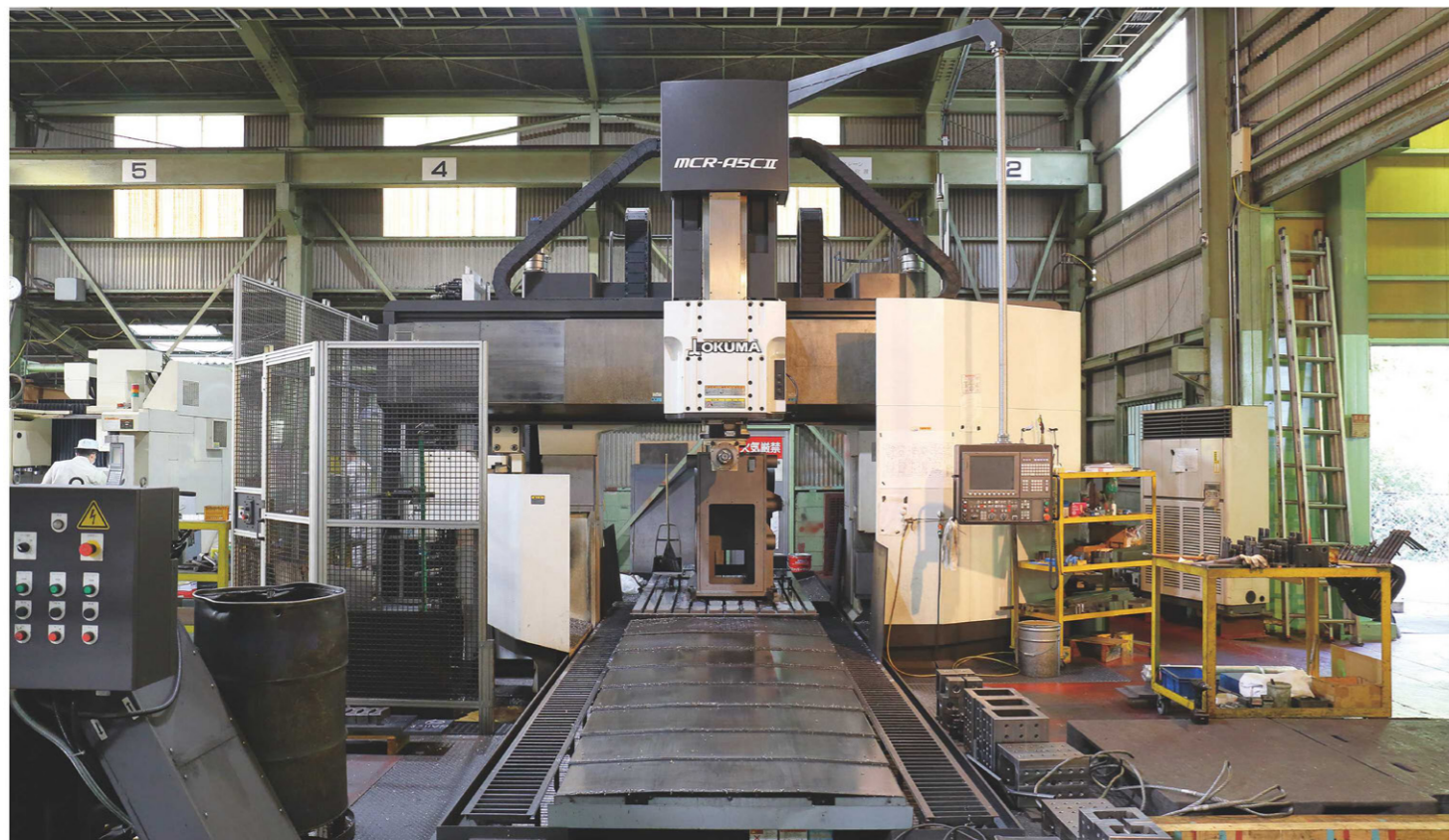


ヒカリ技研株式会社

五面マシニングセンタ導入での製造工程の改善による 生産プロセス革新事業



補助事業

トータルエンジニアリングの強みを生かしニーズに対応 新型・五面加工機の導入で強固な生産プロセスへと変革

産業機械や省力化機械の設計にはじまり、製作・組み立て・据え付けまでの一貫した受注「トータルエンジニアリング」で、各工場の設備レイアウトや省力化をお手伝い。人が同じ動作を繰り返すような作業、あるいは人の力では少し重労働と思えるような作業、そして機械による搬送作業・検査作業等の効率をアップさせる方法を提案している。

同社では、トータルエンジニアリングの強みを生かすため、製造部門に五面マシニングセンタ（五面加工機）1台を保有している。導入後の稼働状況が非常に良く、常に1.5カ月程度の受注量を抱え、対応できない受注分については、外注加工に頼っている状況であった。ただ、その外注加工における比率が年々増えており、五面加工機で加工する見積案件も多数発生。納期対応がままならず、受注を断念するケースもあり、売り上げの取

り逃がしが大きな問題となっていた。外注依存率は40%以上。この問題を改善するため、同事業により五面加工機の導入を検討し、コストや納期など顧客の求めるニーズに対応しつつ、トータルエンジニアリングにおける生産プロセスの強化を図った。

導入したのは「門型マシニングセンタMCR-A5CII20×30」。金属部品加工において、機械装置のベースとなるフレームや大物ブラケットを加工。大きさは1500mm×3000mm以内で、加工高さは750mm以内のもの。部品を一度固定すれば、立方体の5面が同時に加工でき、部品加工の精度も向上する。同事業を活用して五面加工機を導入することで、生産プロセスを革新するとともに、製造部門の外注依存率を低減させ、自社の加工比率100%を目指した。

成果

自社比率を100%に近づけつつ 生産プロセスの革新で受注拡大

五面加工機を1台導入したことにより、社内加工の受注量が拡大。売り上げの上昇および顧客のニーズに対する即応力を強化する目途が立った。また新機種を導入したことで、同等機種を扱う社員同士の競争力が磨かれ、今まで一人で考えていた加工段取りを、ほかの視点からも見るできるようになり、より精度の高い、高品質な製品を顧客に提供することができた。自社の加工比率を100%に近づけつつ、顧客の希望する産業機械や省力化機械を、設計・製作から組み立てまで一貫受注。さらに品質も向上し、短納期対応も可能となった。顧客からしてもメリットは大きく、同社の信用力も向上し、営業面から見ても非常に効果が出ることは確実。今後、大手企業が国内生産へと帰帰する上で、この生産プロセスの革新は、さらなる受注拡大に繋がる。



今後の展開

PR材料として新規顧客を獲得 コロナの余波には粘り強く対応

五面加工機を2台保有することで、加工の受け入れ状況も拡大。新規顧客の獲得にも良いPR材料となる。新規顧客の獲得は、難しいことではあるが、大型NC旋盤と合わせ、受注量の拡大は可能であると考察。ただ2020年からコロナの影響もあり、材料費の高騰と輸入が一時ストップしたこともあって、材料や部品の不足が発生している。今後、社会情勢を踏まえながら、顧客への納期や価格交渉も検討。現場も含め、対話と調整を行いながら、粘り強く対応したいと考えている。



会社紹介

顧客ニーズに合わせた製品をタイムリーに供給 ISO取得で社会や環境に貢献できる企業を目指します



さまざまな業種の生産設備を、企画から設計・製作、メンテナンスまで、一貫して行うトータルエンジニアリングの体制を確立しています。顧客のニーズに合わせた製品を、タイムリーに供給することを企業目標として日夜邁進。品質・納期・コストはもちろん、顧客の満足度が十分に得られるようなモノづくりを行っています。また品質・環境ISOの取得により、社会や環境に貢献できる企業を目指しています。

ヒカリ技研株式会社

代表者：代表取締役 松本修司
設立：昭和49年
資本金：1000万円
従業員：29名
業種：生産用機械器具製造業、その他
の生産用機械・同部分品製造業

所在地：和歌山市下三毛507
TEL：073-477-2666
FAX：073-477-3109
E-MAIL：hikarig@carrot.ocn.ne.jp
URL：http://hikarigiken.co.jp/